

中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
SHSなか学コミュニティ事業		中区役所自治推進課			
事業目的	事業内容	活動指標	R4		
<p>中区政について、若い世代の視点で効果的な啓発方法や事業の検討を行うことにより、区民が住みよい地域社会の実現を目的とする。</p>	<p>中区内の高等学校(精華高等学校、大阪府立東百舌鳥高等学校、大阪商業大学堺高等学校)の生徒に協力を得て、中区政について、アンケート等を実施し、若者の視点で啓発方法や事業の検討を行う。</p>	<p>提案採用件数</p>	<p>30件</p>		
①妥当性		②協働の視点		③インパクト	
○	<p>防犯や交通安全の他、中区事業に関して、若者の様々な視点から意見を聞き、区政に反映することは、よりよい地域社会の実現をめざす取組として妥当な事業である。</p>	○	<p>中区内の高等学校に通う生徒に対し、普段密接に関わる中区内の議題について考えてもらうことで、若者の意見を区政に反映することができるため、協働性のある事業である。</p>	◎	<p>中区内の高等学校の生徒と協力して区政について考えることで若い世代の視点を取り入れることができる中区独自の事業である。</p>
◎		◎		◎	
④効率性					
		<p>電子申請システムを活用したアンケートを実施することでペーパーレス化につながり、費用を抑えた効率的な事業実施を行っている。</p>			
⑤自立発展性		総合評価			
△	<p>各校の生徒会を中心に自発的また意欲的に取り組んでいる一方で、学校側が過密な業務スケジュールの中で生徒をサポートして同規模のアンケート等を自立して実施することは難しいと考えられる。</p>				
		<p>○ 昨年度に引き続き、アンケートを実施し、中区政について若者の意見を聞く良い機会となった。令和4年度は、アンケートの内容に関して、中区役所各課へ照会をかけ、当課の業務内容だけでなく、他課に関する内容についても、実施することができた。</p>			
今後の方向性(課題、改善提案等)					
<p>拡充 継続 見直し 廃止</p>	<p>新型コロナウイルスの動向をみながらアンケートも実施しつつ以前の会議形態の実施に向け、各校と調整を行う。</p>				